

1台で排ガス中の
最大5成分を連続監視

固定発生源監視用ガス測定装置NSA-3080

特徴

- 光源や検出器の変動を補正する島津独自の
レシオ方式赤外線吸収法により、高安定計測可能
- 保守性に優れた薄型キュービクルにより日常点検も容易
- 自動校正、リモート校正、演算処理など、各種機能も分析計が
コントロール



NSA-3080

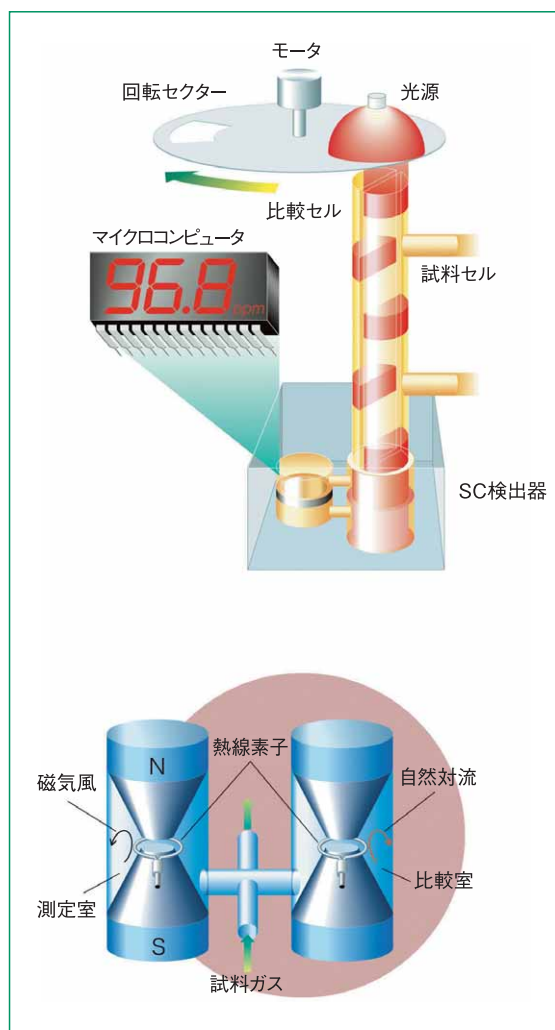
概要

(技術の原理・動作等)

ボイラなどから排出されるガス中には、NO_x、SO₂、CO、CO₂、O₂が含まれており、大気汚染防止のための監視などの目的で、これらの成分の濃度を連続計測することが必要です。NSA-3080は、島津が独自に開発したレシオ方式赤外線式ガス分析計をベースに、長年の実績を活かしたサンプリングシステムとともに、コンパクトで保守性のよいキュービクルに収納した固定発生源監視用ガス測定装置です。

測定原理

赤外線式ガス分析計は、NO、SO₂などの分子が特定の波長の赤外線を吸収する特性を利用し、測定します。レシオ方式とは、比較信号と測定信号を比率補正して、感度を一定に保ちながら、試料濃度を測定する方式です。O₂計は、酸素が磁場に引きつけられやすいために発生する磁気風を、熱線素子により検出することにより測定します。



NSA3080測定原理

株式会社島津製作所 環境ビジネスユニット 〒604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町1

● TEL / 075-823-1635 ● FAX / 075-823-4614 ● E-Mail / ホームページよりお問い合わせ画面へ ● <http://www.shimadzu.co.jp>